

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： アトピー性皮膚炎における生物学的製剤および JAK 阻害内服薬の治療効果予測の検討

### 研究の目的

現在、本邦においてアトピー性皮膚炎の治療に使用可能な生物学的製剤は 4 種類、JAK 阻害内服薬は 3 種類存在します。しかし、各薬剤の特性や効果には一長一短があり、個々の症例においていずれの製剤を選択するかについては明確な基準がなく、医療者個人の裁量に委ねられているのが現状です。本研究では、年齢、性別、皮疹の分布、重症度、検査データ等の各種パラメータと治療経過との相関を分析し、治療効果の高低を予測できる傾向を見出すことで、今後の治療選択の指針となる知見を得ることを目的とします。

研究実施期間： 研究実施許可日 ~ 2025 年 1 月 31 日

対象となる方： 2018 年 4 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日の期間に当科で生物学的製剤または JAK 阻害内服薬による治療を行ったアトピー性皮膚炎患者さん 40 名程度。

### 利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに保存されている、以下の情報を本研究課題実施のために利用します。

- 1) 臨床所見（年齢、性別、皮疹の分布、重症度、前治療の有無）
- 2) 血液検査所見（白血球、好酸球、血清 IgE、TARC、LDH 値など）
- 3) アレルギー検査所見
- 4) 治療（実施された生物学的製剤または JAK 阻害内服薬の投与期間）
- 5) 生じた副作用の内容と重症度
- 6) 治療効果

治療ごとの奏効率を求め、上記 1)-5)の因子が治療効果に与える影響を統計学的に評価します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	皮膚科・相樂千尋、古川和仁 連絡先 電話 0172-39-5087 Email: <a href="mailto:hchihiro@hirosaki-u.ac.jp">hchihiro@hirosaki-u.ac.jp</a> Email: <a href="mailto:kkogawa@hirosaki-u.ac.jp">kkogawa@hirosaki-u.ac.jp</a>
-------	---